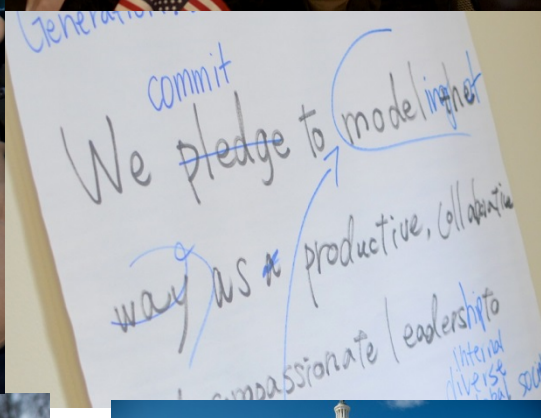
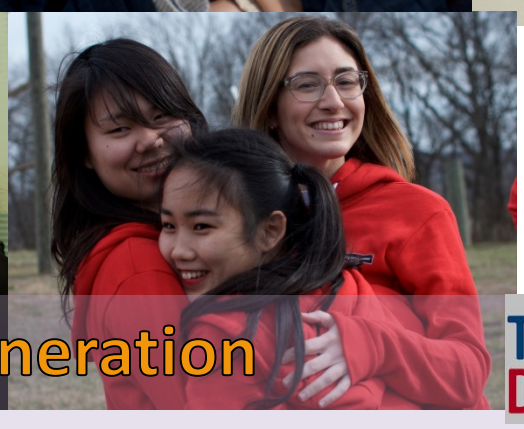
ワシントンD.C.で学ぶ
次世代リーダーシッププログラム





Building the TOMODACHI Generation
プログラム説明会 6/27(火)

学部1・2年生優先

BTGとは Building the TOMODACHI Generation

2013年にThe Washington Center (TWC) と日米研究インスティチュート (USJI) が協力して開始した短期留学型「次世代人材育成プログラム」。東日本大震災後の日本復興支援から生まれたTOMODACHI Initiative（今年のスポンサーはモルガン・スタンレー社）の支援を受けて運営。

社会問題解決のためのリーダー研修や異文化交流等を通して、ワシントンD.C.で日米学生が共に学び、日米国際編成チームで市民社会や東日本大震災から発生している諸問題に対する解決モデルを作成し発表する。

説明会概要

6/27（火） 12:10-12:50

場所：教育推進・学生支援部棟 KUINEP講義室

プログラムを主催するThe Washington Center（TWC)の担当者がプログラムの概要について説明を行います。（使用言語：英語）

問い合わせ

教育推進・学生支援部 国際教育交流課 交流支援掛
◇e-mail: koryusien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
プログラムの詳細については、6月中旬頃KULASISにて公開予定

参加者の声

達成感の先にある友情

プロジェクトと関係のないところでも、D.C.の街を案内してくれたアメリカの学生たちの優しさに心打たれた。終盤は夜中まで発表準備に追われたが、そのような仲間たちと最終プレゼンをやり遂げた達成感はひとしおだった。

スピーキングのセミナーでは個人個人に先生がついて英語を話すときの発音や文法について指導してくださった。短期間で含まれていた内容とは思えないほど充実したプログラムだった。

約2週間ワシントンで共に過ごしたこと自体運命的であり、将来につながることができたら面白いと思う。

（2016年度参加者 2年）

自分の目でみる ワシントン拠点の国際組織

将来はまちづくりに関わるNPOで働くことを選択肢の一つとして考えていたため、このプログラムでアメリカにおけるNPOの役割や形態を学ぶことで、将来の仕事の可能性を広げられると思い参加した。

実際にNPOのオフィスを訪れたり、世界銀行などのワシントンD.C.に拠点を置く国際組織を見学したりする機会があり、とても貴重な体験だった。

（2016年度参加者 3年）